

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和2年12月16日
住 所 さいたま市大宮区上小町1450番地11
県内企業等の名称 一般社団法人埼玉県環境検査研究協会
代 表 者 氏 名 代表理事 野口裕司

一般社団法人埼玉県環境検査研究協会 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当協会は、基本理念である「For ECO (環境のために、お客様のために、そして組織のために)」に基づき、公益事業、収益事業の推進を通して、環境が基盤となる国際、国内、そして地域の各社会の持続的な発展に貢献します。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と方向を同じくするものであり、従業員一人ひとりが各々の責務と役割を踏まえてSDGsの達成に貢献していきます。

| 三側面 | SDGs達成に向けた重点的な取組 | 指 標 |
|-----|---|---|
| 環境 | ①売上額当たりの二酸化炭素排出量の削減 ②浄化槽法定検査実施基数の向上 <基準年2017年度の実績> ①0.568kg-CO2/千円 ②33,446基 | <2030年に向けた指標> ①0.398kg-CO2/千円(△30%)、②70,000基 <取組開始3年後に向けた指標> ①0.465kg-CO2/千円(△18%)、②46,000基 |
| 社会 | ①環境情報発信・交流の増大 ②環境活動への累積寄付額 <基準年2019年度の実績> ①21万5千件 ②91万円 | <2030年に向けた指標> ①30万件、②2019年度からの累計1,000万円 <取組開始3年後に向けた指標> ①23万件、②2019年度からの累計350万円 |
| 経済 | ①多様な働き方の推進 ②従業員の健康の維持増進 <2019年度の状況> ①育児休暇制度の改善、残業削減の推進、正職員登用制度の推進など ②健康診断支援の充実、喫煙抑制の取組の推進、ストレスチェックの推進など | <2030年に向けた指標> ①えるぼし認定(3段階目)県・多様な働き方実践企業プラチナ認定、②国・健康経営優良法人認定 <取組開始3年後に向けた指標> ①えるぼし認定(1段階目)、県・多様な働き方実践企業ゴールド認定、②県・健康経営認定 |

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。